池田　佳和
東京工業大学大学院理工学研究科　特任教授

イノベーション ・マネージメントに関する教育方法論

日本の工学系大学においては卒業生が先端企業にてイノベーションを創出しえる人材となるための教育とその実践が、欧米に比して不足しているとの指摘がある。
企業における研究開発実務に即したイノベーション・マネージメントのカリキュラムと教授法を研究した。関連の教材を開発し、実際の授業を通じて改善をはかった。
同様な趣旨を擁する米国一流大学が主導する外国研修プログラムと連携して、研修内容の共同開発を推進し、日本から学生を派遣した。シンガポール国立大学、上海の復旦大学やインド工科大学の教員学生とも交流をはかった。
イノベーションを実社会にて展開するためには、現在では国際標準化がほぼ必須の条件となっている。標準化マネジメント方法論の普及をはかるため、NICT（情報通信研究機構）に協力してセミナーの企画と実行をおこなった。
さらに、ITU（国際通信連合）が、ICT 標準化と世界の学術機関（大学等アカデミア）の連携をはかるため、「カレイドスコープ学術会議」を新規に開催することになり、その組織委員・プログラム委員として企画と実施に寄与した。

研究成果

標準学　TTC　Report　pp.8-10　Vol.27　No.4　2007

ITU-T と大学の連携に関する諮問会議報告
ITU ジャーナル　Vol.27　No.4　2007

ITU-T カレイドスコープ学術会議報告
ITU ジャーナル　Vol.28　No.7　2008